

会 議 要 旨

会議の名称	平成28年度第1回川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会
会議日時	平成28年11月18日(金) 午前10時00分 開会 ・ 午後0時20分 閉会
開催場所	川越市役所本庁舎 7階 7B会議室
議長(会長)氏名	会 長 福川 裕一
出席者(委員)氏名	委 員 可児 一男、溝尾 良隆、野澤 千絵、佐藤 由美子、 林 秀平、村田 章人、隈倉 雄二郎、栗原 智恵三 8人
欠席者(委員)氏名	委 員 須賀 憲、石村 晃龍、竹澤 穰治 3人
傍聴者	なし
事務局職員 職 氏名	都市景観課 課 長 大澤 健 副主幹 勝呂 和之進 副主幹 粕谷 勝 主 査 矢島 英子 技 師 福田 吉宏
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 議題 (1) 会長・副会長の選任について (2) 防災計画策定について 4 報告事項 平成28年度国庫補助事業について (1) 修理事業について (2) 文化財建造物等を活用した地域活性化事業について 5 その他 6 閉会

議 事 の 経 過

1 開会

2 委員紹介

3 議題

(1)議案第1号 会長・副会長の選任について

推薦により、会長に福川委員を、副会長に可児委員を選任。

(2)議案第2号 防災計画策定について

○検討スケジュールとこれまでの取組み経緯について

川越市川越伝統的建造物群保存地区防災計画改定の検討スケジュールや、庁内での検討・協議の経緯、伝建地区防災ワークショップの開催結果など、防災計画改定に関するこれまでの取組み経緯について説明。

○防災計画策定について

- ・改定計画の全体概要として、計画改定のポイントや改定計画の骨子案について説明。
- ・地区住民の少子高齢化の進展や夜間人口の減少、観光客・外国人観光客の急増といった地区の現状と課題を説明したうえで、現行計画の内容の改善・強化するポイントとして、ソフトレベルの取組みを強化していくことや現在の防災対策事業の進捗状況、今後の継続的な取組みについて説明。
- ・現行計画にはない追加検討事項として、伝統的建造物の耐震化の促進について説明。

【主な意見】

- ・住民の防災に関する意識を上げていくことが重要。
- ・伝建地区内は昼夜の人口差は大きく、その状況に則した防災マニュアルの作成が必要。
- ・伝建地区内では高齢化が進んでいるので、どのように町を守っていけばよいのか心配。
- ・テナントの店員に訓練してもらうことも必要。
- ・自宅の火事や住宅街での火事なら消火活動を行うと思うが、商業地域では周りの人は手を出さないのではないか。テナントとの関係で、共助の検討をしていくとよい。
- ・テナント店員の防災意識や防災訓練の実施、防災マニュアルを理解しているかというところが一番問題。
- ・観光客の避難誘導やサイン計画などを地区レベルで整備するなど、計画をもう少し具体的に踏み込んだ方がよい。
- ・地区レベルでのマニュアルの整備を商店街と行政や専門家が一緒になって作成していくべき。
- ・一番街の交通問題について、防災も含めて全庁的に検討すべき。
- ・防災に関する事業者の意識が薄いというのが問題で、積極的に取り組めば、簡単に解決できることもあるのではないか。

○建築基準法の特例措置について

歴史的建築物の保存活用に関する建築基準法の特例措置について、同法第3条第1項第3号に基づく適用除外と同法第85条の3に基づく伝統的建造物群保存地区内の制限緩和のそれぞれの制度について説明。

【主な意見】

○建築基準法の適用除外について

- ・ いろんな敷地条件、接道条件があるので、現場合合わせが可能なのがメリットだが、保存活用計画の策定などに時間がかかるため、突発的な修繕は難しいというデメリットがある。
- ・ 策定指針に地区レベルのソフト面での防災のレベルアップを位置づけることが重要。
- ・ 非常に手間がかかるため、実際使われないというデメリットがある。

○伝統的建造物群保存地区内の制限緩和について

- ・ 町並み形成上は、非常にメリットがある。かつ、要件を満たせば緩和できるので、機動的に修理等をやりやすいというメリットがある。
- ・ 国土交通大臣の承認を得る必要があり、代替措置が問われることになるが、緩和によって防災性が上がるということも考えられる。
- ・ 伝統的建造物以外の新築修景にも適用させようとするハードルは高い。
- ・ 伝建地区もまずは、保存活用条例による適用除外のための保存活用計画の策定指針を策定する中で、制限緩和条例を見据え、代替措置等をしっかりと考えながら、次のステップとして制限緩和の必要性について検討するのが妥当ではないか。
- ・ 新築の修景による町並みの整備という観点で言うと、建築基準法が適用されると、例えば軒裏をモルタルで塗ったような蔵造りが増える傾向にあり、新築の修景に対する制限緩和についても考えてもらいたい。

4 報告事項

平成28年度国庫補助事業について

(1) 修理事業について

修理事業3件について報告。

(2) 文化財建造物等を活用した地域活性化事業について

時の鐘耐震化事業について報告。

【質問】

時の鐘の根継柱に白太を含む木材を使用しているが、雨風等による劣化に対しては大丈夫か。

⇒十分検討したうえで決定しており、問題はないと認識している。

5 その他

○都市景観シンポジウムの開催について。

事務局より11月23日に都市景観シンポジウムを開催することを報告。

6 閉会